

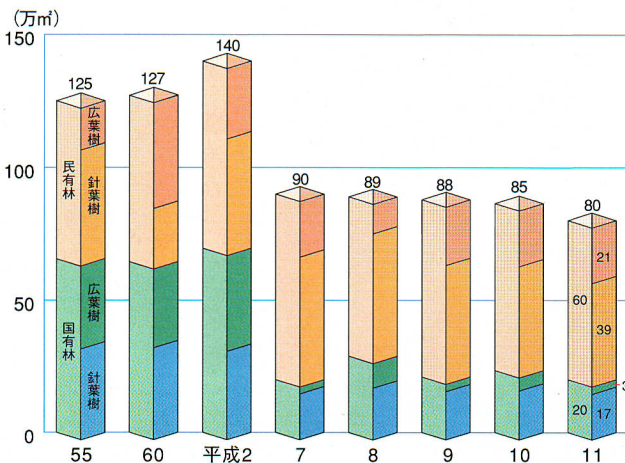
## 5 林産物

### (1) 木材

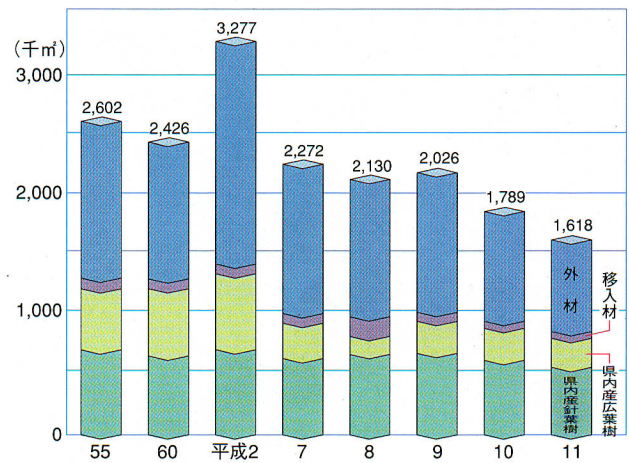
素材生産量は、平成2年まで年間1,200~1,300千 $m^3$ で推移してきたが、平成3年から減少に転じ、平成11年には800千 $m^3$ となった。また、チップ需要も低迷しており、広葉樹の素材生産に大きな影響を与えている。

平成11年度における福島県内の素材生産量の内訳は、国有林が203 $m^3$ 、民有林が597千 $m^3$ となっており、針広別では針葉樹560千 $m^3$ 、広葉樹240千 $m^3$ となっている。ほかに外材入荷量が762千 $m^3$ 、県外からの移入量が56千 $m^3$ で、県内の自給率は49%となっている。

素材生産の推移



木材供給量の推移



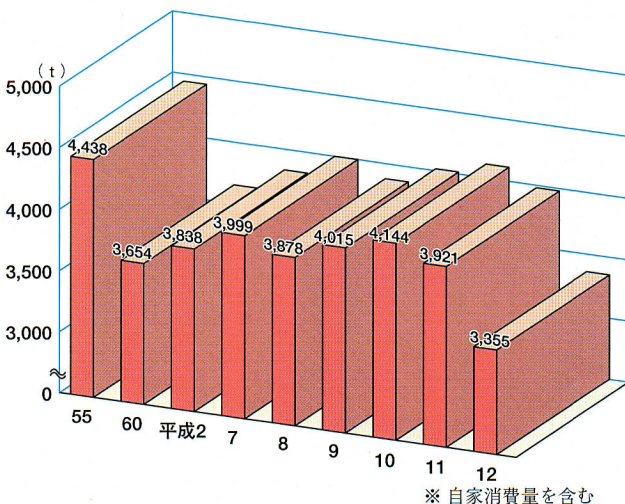
### (2) 特用林産物

きのこ類は、本県の緑の豊かな森林資源と、大消費地に隣接した恵まれた立地条件を背景に安定して生産され、生しいたけの生産量は全国第6位、ナメコは第6位となっている。

桐については、生産量が全国第1位を誇っているものの、安価な外材の輸入による材価の低迷や連作障害・病害等の発生により、植栽は年々減少している。

平成12年度における生産量は、しいたけが3,355 t、なめこが1,813 t、桐が1,061 $m^3$ となっている。

生しいたけ生産量の推移



なめこ生産量の推移

